

総代会 会員一人ひとりのご意見を、金庫経営に反映させていただきます。

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業部店までお寄せください。

総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
- ・総代の定数は、120人以上150人以下で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。

なお、2021年6月1日現在の総代数は149人で、会員数は17,706人です。

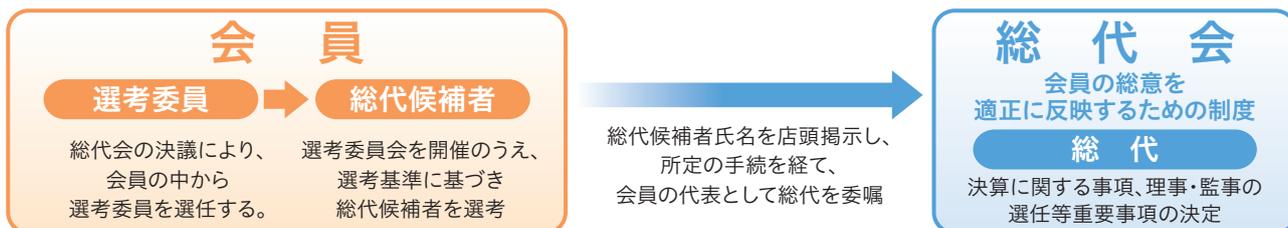
(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準(注)に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

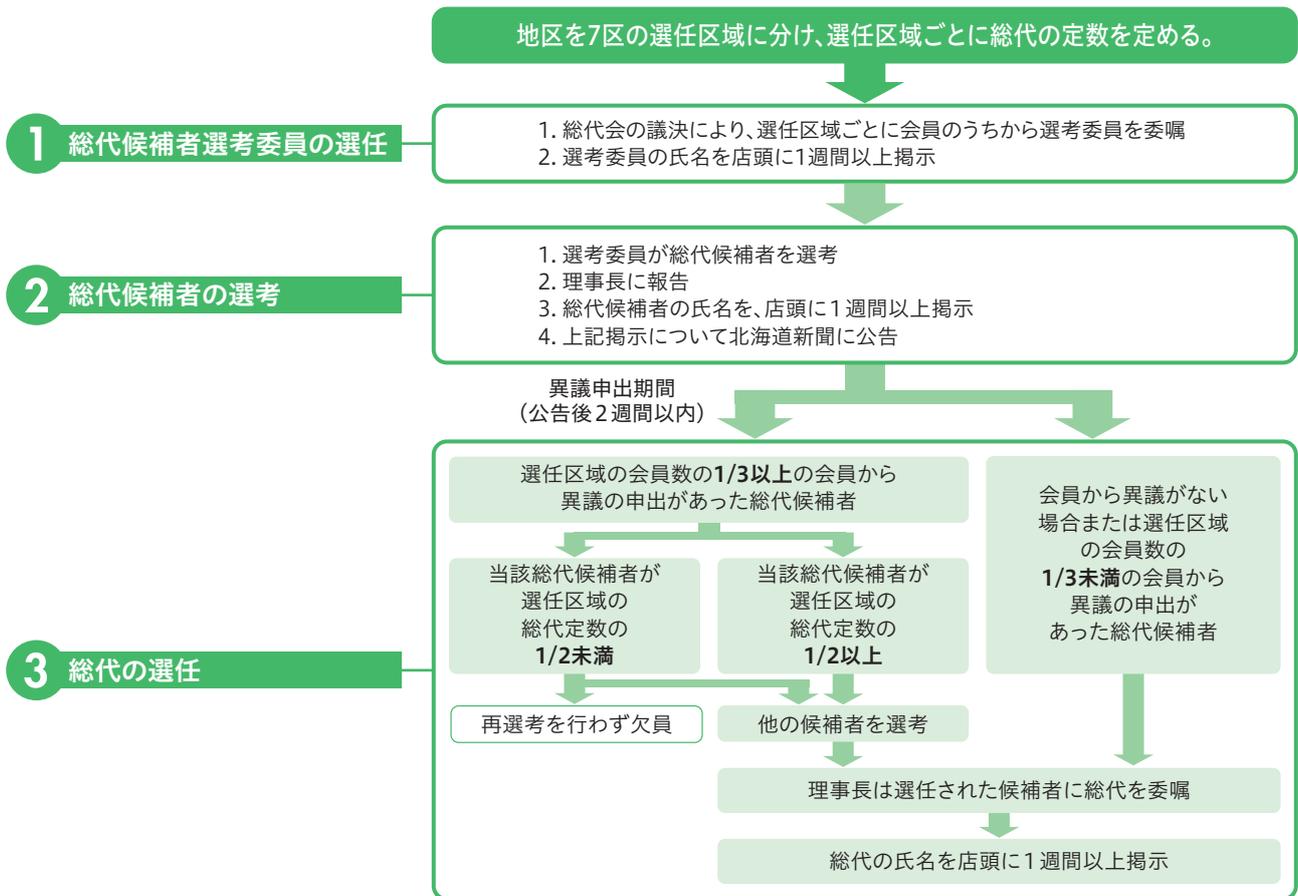
1. 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
2. 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
3. 上記2により選考された総代候補者を会員が信任する。(異議があれば申し出る)

(注) 総代候補者選考基準

1. 当金庫の会員であること
2. 就任時点で満80歳を超えていないこと
3. 地域における信望が厚く、総代としてふさわしい人物であること
4. 信用金庫の使命と理念をよく理解し、金庫との取引も良好であること
5. 地域の事情に明るく、金庫に対する協力者であること
6. 事業者である場合は、経営内容が良好であること



〈総代が選任されるまでの手続について〉



第78回通常総代会の決議事項

第78回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり了承されました。

第78回通常総代会議案

(1) 報告事項

第77期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

(2) 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 総代候補者選考委員22名選任の件
- 第4号議案 理事11名選任の件
- 第5号議案 定款第15条に基づく会員除名の件



総代の氏名

●2021年6月1日現在（敬称略・五十音順）※氏名後の丸数字は総代の就任回数

選任区域	人数	氏名
第1区	本店	7名 高岡 広明④ 田島 元④ 田畑 昌伸⑥ 樋口 英俊⑤ 前田 憲男⑤ 万年 雅利⑥ 室谷 元男⑦
	上ノ国支店	7名 草間 貞一⑪ 小林 恭平⑨ 小林 誠④ 谷口 功⑪ 福士 秀彦⑤ 横山 栄一④ 若狭 正仁②
	奥尻支店	5名 明上 雅孝③ 石川 克己⑦ 越森 修平③ 干場 明② 三上 勝廣⑤
第2区	熊石支店	3名 島谷 喜人⑩ 田中 裕⑤ 宮田 千秋⑤
	乙部支店	5名 大坂 裕康④ 工藤 勝仁② 近藤 宗司⑦ 田中富士雄⑥ 中道 照幸⑥
	厚沢部支店	5名 鈴木 祥司⑦ 鈴木 満紀⑪ 能登谷謙一⑧ 前井 敏弘④ 山田 工④
第3区	福島支店	5名 上嶋 利洋④ 西田 篤司① 平野 武夫⑦ 湯浅 章⑩ 吉田 隆悦③
	松前支店	3名 中江 清隆⑤ 早瀬 智幸④ 松尾 佳清⑥
	木古内支店	4名 北島 孝雄⑧ 手塚 通隆④ 西根 悌司① 廣瀬 雅一②
	知内支店	4名 奥山 茂② 齊藤 毅④ 澤岡 孝彌⑨ 繁田 一義③
第4区	函館支店	24名 青木 善一④ 荒木 保① 五十嵐 稔⑦ 大竹 昌尚⑤ 小笠原勇人① 及能 有三① 国立 金助⑥ 小坂 三男⑧ 島本 肇⑥ 菅原 徹⑦ 鈴木 守⑧ 高野 元宏② 竹内 優之① 田中孝太郎⑥ 谷川 栄樹⑥ 長南 武次① 豊田 千春⑤ 早川 勝紀⑫ 原 隆俊⑪ 福西 秀和⑧ 藤原 史章① 米塚 茂樹⑤ 渡邊 和輝④ 渡邊 宏海③
	湯川支店	10名 長内 則明⑦ 菊池 一樹① 佐藤 知寿② 菅井 幸光⑫ 土谷 健治⑨ 堤 良夫② 中濱 一義⑧ 野口 等④ 藤本田鶴美⑤ 山矢 讓①
	えさん支店	5名 齊藤 明男⑨ 佐々木善昭⑥ 高木 和寿① 中市 敏樹① 中村 陸三③
第5区	函館中央営業部	17名 相川 良夫⑤ 石橋多喜雄⑧ 大越 信幸⑩ 岡村 秀康⑫ 角田 隆芳⑤ 梶原 健司⑥ 金木 茂治⑪ 久保 司① 斎藤 秀司① 須田 新崇⑮ 玉津 眞史⑬ 利波 英樹① 新田 朗彦⑧ 本郷 嘉彦⑫ 三浦 英昌① 宮崎 昌② 吉野谷文一①
	ばんだい支店	9名 池田 信夫① 木村 孝二⑦ 小林 弘⑦ 佐藤 研二⑫ 橋本 範行② 丸山 量⑬ 宮崎あけみ③ 吉田 勤⑬ 渡部 二康⑦
第6区	亀田支店	6名 石川 昭信④ 石田 勝義② 松田由美子① 村上 隆樹④ 森崎 幹子⑬ 吉田 直人⑭
	中道支店	5名 安保裕一郎⑫ 岩館 一則⑦ 小林 政春⑦ 竹田 青司③ 出戸 秀光⑦
第7区	七重浜支店	8名 安藤 栄継⑤ 石崎 幸男⑩ 熊谷 孝之⑥ 佐々木博史⑫ 床鍋 喜雄⑦ 堀 英二③ 本庄 寛治⑦ 矢口 政則②
	北斗支店	8名 小野 精一② 金澤 賢一⑥ 佐藤 悦郎⑦ 澤田 龍② 武田 真③ 時田 茂⑤ 二井田 守⑥ 福島 忠志⑤
	七飯支店	9名 秋田 広樹① 大清水新一⑭ 川尻 淳一⑤ 川又 修治④ 財津 茂實⑥ 佐藤 哲司⑥ 林 一哉⑥ 原子 秀康⑨ 横田 有一⑦

合計149名

総代の業種別・年齢別構成

《職業別構成》

法人代表者	136人(91.2%)
個人事業主	9人(6.0%)
個人	4人(2.6%)

《業種別構成》

製造業	19人(13.1%)
漁業	2人(1.3%)
鉱業、採石業、砂利採取業	1人(0.6%)
建設業	44人(30.3%)
運輸業、郵便業	6人(4.1%)
卸売業、小売業	39人(26.8%)
金融業、保険業	1人(0.6%)
不動産業	8人(5.5%)
学術研究、専門・技術サービス業	3人(2.0%)
宿泊業	2人(1.3%)
飲食業	1人(0.6%)
生活関連サービス業	7人(4.8%)
教育、学習支援業	2人(1.3%)
医療、福祉	5人(3.4%)
その他サービス業	5人(3.4%)

※業種別の構成比は、法人代表者・個人事業主に限っております。

《年齢別構成》

30代	1人(0.6%)
40代	8人(5.3%)
50代	22人(14.7%)
60代	52人(34.8%)
70代以上	66人(44.2%)

総代候補者選考委員の氏名

●2021年7月1日現在（敬称略・五十音順）

選任区域	氏名	
第1区	本店	小笠原 隆
	上ノ国支店	八十科 剛
	奥尻支店	成田 久
第2区	熊石支店	田村美津雄
	乙部支店	光成 弘治
第3区	厚沢部支店	香川 敏彦
	福島支店	奈良 正喜
第4区	松前支店	小川 正紀
	木古内支店	北島 孝雄
	知内支店	奥山 彰
第5区	函館支店	原 隆俊
	湯川支店	土谷 健治
	えさん支店	中市 敏樹
第6区	函館中央営業部	角田 隆芳 梶原 健司
	ばんだい支店	柏葉 孔
第7区	亀田支店	石川 昭信 森崎 幹子
	中道支店	小林 政春
第8区	七重浜支店	三浦 和彦
	北斗支店	金澤 賢一
	七飯支店	堀 元

合計22名

地域貢献

地域の繁栄は、金庫の繁栄。地元経済の振興こそが信金の務めです。

当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

当金庫は、檜山・渡島管内に位置する2市14町を事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や生活の安定のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機関の業務提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



お客さまの預金について

当金庫の2021年3月末の預金積金残高(譲渡性預金を含む)は2,899億円です。お客さまからお預かりした大切な預金は、皆さまから信頼をいただいている証であります。

地域のお客さまへのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆さまへのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心掛けております。

当金庫の2021年3月末の貸出残高は右図の構成となっております。

〈貸出の運営方針〉

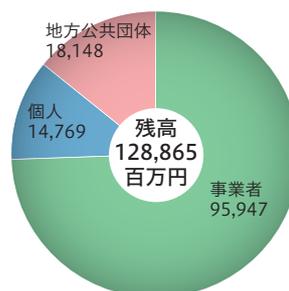
1. 地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援いたします。
2. 大口に偏重することなく、多数のお客さまにご利用いただけるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
3. 業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

なお、地元中小企業や地域社会の皆さまの様々な資金ニーズにお応えするため、制度融資資金等をはじめ、各種商品を取り揃えております。

※取扱商品につきましては、24~25ページをご覧ください。

〔貸出金残高構成〕

(単位:百万円)



※金額単位未満および小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
※各計数は2021年3月末現在です。

預金積金における貸出金の割合/44.44%

設備資金/69,436百万円

運転資金/59,429百万円

ご融資以外の運用について

当金庫はお客様の預金を、ご融資による運用の他に有価証券等による運用も行っております。

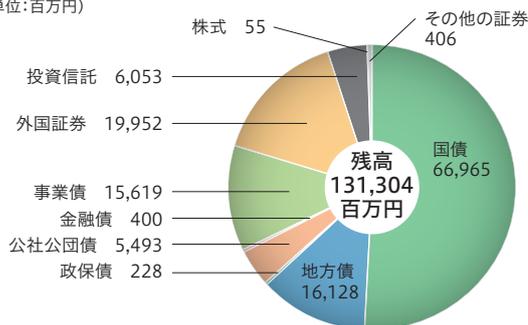
有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種リスクに十分配慮し、安全な運用に努めております。

この他、即日換金可能な信金中金定期預金等への預入により、流動性リスクについても十分配慮しております。

- 有価証券残高／131,304百万円
- 預け金残高／36,200百万円

[有価証券残高構成]

(単位:百万円)



※金額単位未満は切り捨てて表示しております。
※各計数は2021年3月末現在です。

お取引先へのご支援等について (地域との繋がり)

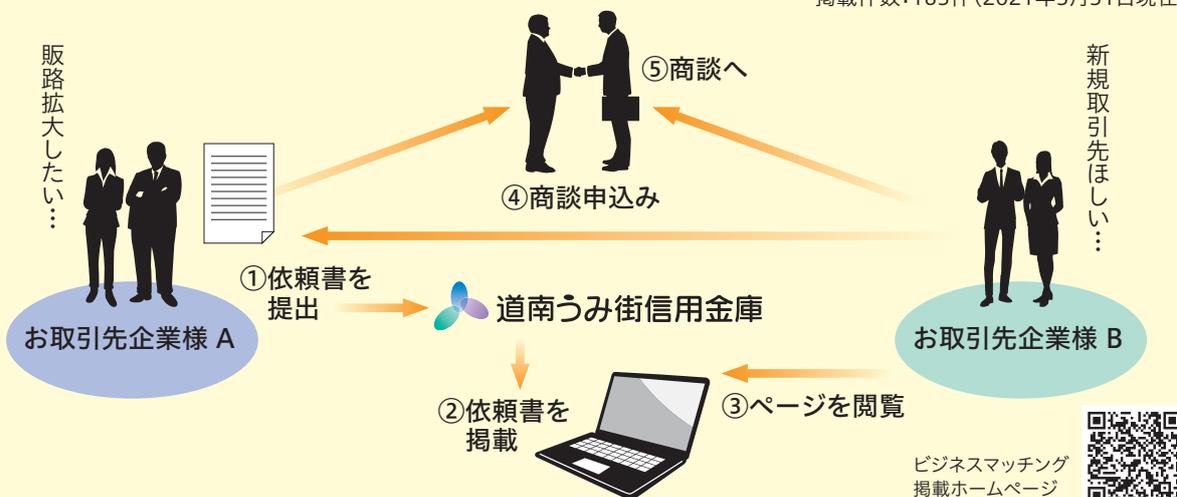
- 中小企業者や個人事業主の皆さまの経営に少しでもお役に立ていただければとの思いから、地域内の経済情報を収録した「地区内経済概況」や「営業地区内の景気動向調査」、業界経済情報誌である「経営情報」等の各種経営情報をお届けしております。
- 個人のお客様が希望した場合、生活に密着した各種情報が満載されている情報誌「楽しいわが家」をお届けしております。
- お取引企業と「うみしん職域サポート協定」を締結することで、経営者を含む従業員に対し当金庫の取り扱う金融商品について、金利優遇等のサービスを行っております。お取引企業は従業員が定着し、健康で文化的な生活を営み、生活の安定と向上等、福利厚生面でお役に立てるといったメリットがあります。
- 高齢者等への課題対応等地域住民サービスの一環として、当金庫営業店所在地2市11町と「高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を締結しております。締結させていただいた市町と連携して、複合的かつ重層的な見守り・安否確認の仕組みを構築し、高齢者の孤独死防止等に寄与するための取り組みをしております。

うみしんビジネスマッチング応援

当金庫のホームページ上にビジネスマッチングページを掲載し、お取引企業の事業展開を応援、事業パートナー等と出会う機会を提供させていただくサービスを実施しております。

お取引企業のビジネスマッチングにかかるニーズ情報(販路の拡大等)を掲載することにより、新しいビジネスへと繋げていただくことを目的としております。

掲載件数:183件(2021年3月31日現在)



トピックス

2020年度の主なできごと

2020年4月 1日	入庫式(新入職員13名)
2020年4月 1日	信託契約代理店として、しんきん暦年信託「こころのリボン」取扱開始
2020年4月 6日	本部を函館市上新川町へ統合移転
2020年6月22日	第77回通常総代会を開催(於:江差町 ホテルニューえさし)
2020年6月30日	北斗支店「北斗市総合分庁舎出張所」店外ATMを廃止
2020年7月 1日	「うみしん個人ローンS」(しんきん保証基金/生活資金支援ローン)取扱開始
2020年7月 1日 ~10月31日	セーフティラリー北海道2020へ参加(参加212名)
2020年7月22日	函館中央営業部「上新川出張所」店外ATMを開設
2020年7月28日	新本部グランドオープンセレモニーを開催
2020年9月 5日	全店一斉総合防災訓練を実施(各市町消防署が協力)
2020年10月 5日	上ノ国支店・乙部支店・厚沢部支店・奥尻支店・松前支店・知内支店の窓口営業時間変更



地域とのふれあい



お客さまネットワーク化の取り組み

当金庫には、各営業店のお取引先事業者さま(会員)相互の親睦・交流を目的として設立された親睦団体「うみしん会」や、当金庫で年金をお受取りのお客さまを対象とした「年金友の会」がございます。

○うみしん会

【14団体:会員数1,096名(2021年3月末現在)】

例年、各団体で経済講演会・旅行・ゴルフ大会・懇親会・レクリエーション等様々な催しを行っていましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から関係者の安全を最優先に考え、行事開催の自粛をお願いし、活動を控えて頂きました。

新型コロナウイルス収束後は当金庫も参加・後援し、お客さまの発展と繁栄のお手伝いをしてまいります。

○年金友の会

【16支部:会員数3,855名(2021年3月末現在)】

例年は歌謡ショー・パークゴルフ大会・旅行・新年会等様々な催しを企画しておりますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から関係者の安全を最優先に考え、全ての企画を中止としました。



地域活性化への『連携』

当金庫では、地方公共団体や各企業と連携協定を締結し、共同で様々な活動へ参加・協力することで、地域活性化に取り組んでいます。

○渡島総合振興局、檜山振興局との三者包括連携協定の具体的事業活動

観光をはじめとする産業振興や地域の人材育成に関する取り組みなどで連携することにより、道南地区全体の活性化を図る目的で、2018年3月に締結した包括連携協定の一環として、2020年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から関係者の安全を考慮し、以下の取り組みを行いました。

- 店舗内ロビーにて「少子化対策パネル展」の開催(本店)
- 「ひやまの魅力再発見キャンペーン」ポスター掲示活動の実施(5店舗)
- 当金庫が毎月発行している「地区内経済概況」に両振興局の関連事業を掲載し情報発信



○函館方面江差警察署との連携協定

2020年10月に函館方面江差警察署と「地域の安全に関する協定」を締結しました。

犯罪や事故のない安心して暮らせる地域社会の実現に貢献する事を目的として、特殊詐欺被害防止等に関する情報をお客さまに提供しております。

- 連携協定の事業として、当金庫にて年金をお受け取りの方へのお誕生日プレゼント引換ハガキの裏面に特殊詐欺に関する「注意喚起」イラストを掲載しました。



○休眠預金活用団体との連携

- 休眠預金活用団体と地域金融機関との間で、函館エリアの地域内連携に向けた意見交換会を開催しました。

○江差町教育委員会との連携

- 子供安全パトロール・下校見守り隊に参加し、小学生下校時の安全を見守りました。



○北海道商工会議所連合会との連携

- 地元の飲食店・一次産業を応援する農林水産省委託事業「Go To Eat」に係る食事券の販売を全営業店で行いました。



○公益社団法人函館法人会、公益社団法人江差地方法人会との業務連携

地元中小企業業者の健全な育成と発展および持続的な安定を実現することを目的として、2018年12月に公益社団法人函館法人会と、2019年2月に公益社団法人江差地方法人会と業務提携を締結しております。





若手経営者育成のための学習塾を開校

地域活性化を目的とする若手経営者育成のための学習塾として、2018年6月の「開陽塾」(檜山地区)を皮切りに「ともえ塾」(函館地区)、「海峡塾」(渡島西部地区)をそれぞれ開校しております。

若手経営者の勉強・交流の場として活用いただき、地域活性化に取り組んでおりますが、2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止しました。



道南杉ベンチの寄贈

当金庫創立90周年(2014年)を契機に、地域への感謝の意を表し、地場産材である「道南杉」を使用した「ベンチ」を寄贈しております。(目標100脚に対し寄贈総数106脚となりました)

《2020年度寄贈先・設置場所》

- ・江 差 町 「旧檜山爾志郡役所(屋外広場)」
- ・(株)上ノ国町観光振興公社 「道の駅 もんじゅ」
- ・(福)熊石敬愛会 「特別養護老人ホームくまいし荘」
- ・乙 部 町 「乙部町公民館」
- ・厚沢部町 「厚沢部町認定こども園はぜる」
- ・福 島 町 「福島町トンネル記念館」
- ・奥 尻 町 「国民健康保険病院」
- ・松 前 町 「松前城内観覧場所」
- ・函 館 市 「函館市役所本庁舎」
- ・公立大学法人 公立はこだて未来大学 「学内ホール」
- ・(宗)伏白稲荷神社 「伏白稲荷パークゴルフ場」
- ・(株)函館酪農公社 「あいす118・工場見学ルーム」
- ・北 斗 市 「北斗市郷土資料館」
- ・(一社)北海道大沼国際交流協会 「北海道大沼国際セミナーハウス」
- ・木古内町 「木古内町役場」
- ・知 内 町 「知内町役場」





スポーツ振興活動

○スポーツイベントへの取り組み

例年少年野球やパークゴルフ等各種スポーツ大会の開催、マラソン大会への協賛や参加を通じて、皆さまと交流を深めておりますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から関係者の安全を最優先に考え、以下の活動を中止としました。

- 道南うみ街信用金庫杯「ジュニアフットサル大会」
- 道南うみ街信用金庫杯「少年軟式野球大会」
- 道南うみ街信用金庫杯争奪「中学校野球大会」
- うみしん中道杯争奪「親善少年野球大会」
- 道南うみ街信金福島杯「パークゴルフ大会」

また、例年協賛している以下の各大会については、開催中止となりました。

- 「奥尻ムーンライトマラソン」
- 「函館マラソン」
- 「少年剣道江差大会」
- 「北海道女だけの相撲大会」

○「うみ街信金ボールパーク」ネーミングライツ パートナー契約

江差町と「江差町民野球場」に係るネーミングライツパートナー契約を締結しております。

2018年4月からの5年間「うみ街信金ボールパーク」として、地域の皆さまに親しまれ活用していただくとともに、スポーツ振興に貢献してまいります。



○函館千代台公園野球場外野フェンス広告契約

2020年4月より外野フェンス広告を契約しております。少年野球の発展はもとより、スポーツ振興に貢献してまいります。



地域行事・祭事への協賛・参加

地域の皆さまとのふれあいを大切にし、例年各地区で行われるお祭りやイベントに積極的に参加・協賛しておりますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から主催者の判断により開催中止となりました。

- ウィズコロナでの各地区の新たなイベントに参加しました。
 - 「かもめ島ミニシアター」
 - 「厚沢部町ドライブインシアター」
 - 江差観光コンベンション協会主催「観光PRイベント」



文化・金融教育活動

各種大会の開催・支援のほか、地域行事等の展示会や作品の展示会場としてロビーを開放しております。

●インターンシップ(職場体験学習)の受入

店舗所在地近隣の高校生を対象とした業務体験研修を開催しました。

- (中 学)・松前中学校
- (高 校)・函館商業高校
 - ・福島商業高校
 - ・江差高校
 - ・函館大学附属柏陵高校



●職業説明会

社会人となつての体験談を、教育活動の一環として在校生に講話しました。

- (高 校)・松前高校

●店舗ロビーを活用した作品展の開催

- ・税に関する絵はがきコンクール作品展
- ・江差の夕日グランプリ写真展
- ・江差小中学生俳句展
- ・戦後75周年、町制施行55周年記念パネル展
- ・江差線、思い出の軌跡写真展
- ・空から乙部を見てみた写真展
- ・防火書道コンクール作品展
- ・寒中みそぎ祭り、咸臨丸祭り、チューリップフェア等の写真展



●檜山管内児童・生徒美術展への後援

(表彰式・作品展示は中止となりました)

例年取り組んでいる以下の文化活動については、新型コロナウイルス感染防止の観点から関係者の安全を最優先に考え、開催を中止しました。



●道南地区小中学生珠算競技大会

また、例年協賛している以下の各大会については、開催中止となりました。

- 江差追分全国大会
- 市民創作「函館野外劇」
- 北斗市珠算競技大会



地方自治体の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する 施策会議等への積極的な参画

当金庫は、店舗所在地の各自治体における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連した施策会議等に地域金融機関としての知見を活かし委員として積極的に参画し、地域活性化に取り組んでおります。

なお、地域密着型金融の強化、高齢者への課題対応等地域住民サービス強化の一環として「高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を2市11町と締結しております。



環境問題への取り組み

環境問題への取り組みは社会的責務であり、当金庫としても「やれること・やらなければならないこと」に積極的に取り組んでおります。

電力使用量の削減を主要課題として、“クールビズ”や“ウォームビズ”を実施し、夏・冬の“節電取り組み”への協力をしているほか、「太陽光発電システム」の設置や、新築店舗や照明機器の取替えは「LED照明」を採用しております。

また、各地区で行われた町内・海水浴場等の一斉清掃や植樹・除草作業などの取り組みに参加しております。

<実施活動>

- 新本部周辺および亀田川沿いの清掃活動

<参加活動>

- 乙部町商店街清掃活動
- 奥尻町海浜清掃活動
- 松陰町内清掃活動
- 五稜郭商店街清掃活動
- 七重浜海浜公園前浜の海岸清掃活動
- 福島町川原町自治会清掃活動
- 福島町国道沿いの花壇作り
- 万代町商興会花壇作り
- サラキ岬チューリップ球根植替え作業



福祉活動

社会福祉事業への貢献として、赤い羽根共同募金運動「ピンバッチ募金」に協力、またペットボトルキャップ・リングプル・古切手を収集し社会福祉協議会へ寄付寄贈しました。



その他

- 各地区で行われた「交通安全運動」等へ参加し、交通安全の啓蒙活動を行いました。
- 金融犯罪防止活動の一環として、各地域の警察署と協力して“振込詐欺防止”を来店のお客さまに呼びかけました。
- 函館西警察署との連携により当金庫年金スタンプラリーカードに特殊詐欺被害防止デザインを採用し配布開始しました。



カラー電車「うみしん号」 運行中!

当金庫では、PR効果だけでなく、地域貢献を目的に観光都市「はこだて」の歴史と自然が調和する美しい街並みを守る観点から、良好な景観の形成に配慮することが求められている市電車体広告「うみしん号」を運行しております。



道南うみ街信用金庫 しんきん通帳アプリのご案内

当金庫では2021年4月よりしんきん通帳アプリ(以下、通帳アプリといいます。)の提供を開始しました。

●利用可能時間 平日：24時間

土曜日：0時～22時

日曜日：8時～24時

※メンテナンス等によりご利用いただけない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●普通預金口座をお持ちの全ての個人のお客さまがご利用いただけます。

- アプリ利用料 無料!
- 口座番号そのままスマホでカンタン登録!
- 保有口座を最大5つまで登録できます!
- 最大10年間分の取引明細が確認可能!
- 検索・メモなど便利な管理機能も!



〈ご留意いただきたい事項〉

- ・ご利用に伴う通信料はお客さまのご負担となります。
- ・紙通帳から通帳アプリに切り替えた場合、これまで使用していた紙通帳はご使用いただけなくなり、ATMを使用した通帳によるお取引(振替入金・定期入金等)もご利用いただけません。
- ・紙通帳から通帳アプリに切り替えた場合、切替日以前の未記帳明細は、切替日の翌日より通帳アプリでご覧いただけます。なお、記帳済みの入出金明細は通帳アプリではご覧いただけません。
- ・通帳アプリをご利用の口座を紙通帳へ戻す際には、当金庫所定の通帳発行手数料がかかる場合があります。

登録方法等の詳細は、店頭備付のパンフレットをご確認ください。

また、ご不明な点がございましたら、以下のサポートデスクまでお問い合わせください。

●お問い合わせ先

道南うみ街信用金庫 しんきんEBサポートデスク

TEL 0120-68-1014

受付時間 平日9:00～17:30(土・日・祝日、年末休業日および正月三が日を除きます)